

## 交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学：ライデン大学  
留学先での所属学部・研究科：法学部  
留学先での在籍身分：交換留学生  
留学期間：2015年8月～2016年1月  
神戸大学での所属学部・研究科：法学部  
学年（出発時）：学部3年  
本報告書記入日：2016年4月8日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：9月1日

学年終了月日：8月31日

学期：

①9月1日～10月31日

②11月1日～1月31日

③\_\_月\_\_日～\_\_月\_\_日

④\_\_月\_\_日～\_\_月\_\_日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

ライデン大学は、法学部や人文学部をはじめとして、さまざまな学部があり、オランダ最古、そしてヨーロッパの中でも大変歴史の長い大学として名を馳せています。キャンパスは、ライデン市、ハーグ市の二つの市に複数存在していますが大半はライデン市内にあります。特に名前が知られていたと思われる学部のひとつに法学部が挙げられます。法学部は数々の大学ランキングに載るほど長けているようです。しかし、それ以外の学部ももちろんランキングに名前が載るほど有名なよう、ライデン大学そのものが大変知られた大学であることをうかがうことができました。

#### 1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

オランダの公用語はオランダ語ですが、ほとんどのオランダ人は幼少期から英語教育を受けているのでネイティブレベルと同じぐらい英語を話せる人が多いです。ですので、大学の留学コーディネータ等となくあっても英語が話せたら問題はないです。また、有料ですが、大学の留学生をサポートするグループがオランダ語の授業を提供しているので、簡単に学ぶ機会も手に入ると思います。

勉強面でのサポート：

授業ごとにチューターなどはおらず、大概は先生しかいないので、何か質問があれば直接アポを取って聞くことになると思います。

精神面でのサポート：

現地の大学に留学コーディネーターがいるのでその方に相談するのが一番早いと思います。ただ僕の場合は日本にいる友達とも割とこまめに連絡を取り精神面で助けられることもありました。

住居・生活面でのサポート：

留学生の寮やアパートは数がたいへん限られており、競争率もとても高いと思います。なので、必然的に家賃が高い物件を割り当てられてしまうこともあります。そのとき、もし条件に合えば、家賃の補助を受けられる場合があります。私が留学していた時の場合だと、月にだいたい603ユーロ以下の家賃を支払っている人はその補助を受ける資格がありました。（あくまでも私が留学していた時の情報なので参考程度に。）これだけでもかなりありがたいと思います。また、大学のHousing Officeはあまり頼りにならないのでそのあたりは情報を自らで精査しつつ過ごしていきってください。

課外活動のサポート：

課外活動に関しては割と数は多かったと思います。まずは、一番大きな課外活動であるオリエンテーションから始まります。ここでは、ライデン市内の町案内をしてもらったり、大学構内についての紹介をしてもらったり、基礎的な情報をつかむのに役立つと思います。また、ここでたくさんの友達も作るすることができます。なので、参加自体は強制ではありませんが、参加することをお勧めします。この他にも、ISNという留学生のイベントを企画している団体に参加しておけば、様々な課外活動の情報を得ることができるのでこちらもおすすめです。課外活動に関して特に困ることはないと思います。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい  いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

先ほども書きましたが、住居に関しては極めて高い競争率であると思います。初動が重要になってくると思うので、ライデン大学側からの留学の正式なアドミッションを受け取る前から住居に関しては申請できると思うので、その段階から動き出したほうが良いと思います。ただ、もし大学側が住居を割り当ててくれたとしても、かなりギリギリなので、予め日頃から住居に関しては自分で探しておくのも良いと思います。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

損保ジャパンの海外長期滞在保険。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

現地では加入していません。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：  日本から持参した  現地で購入した  保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：  接続できた  接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

インターネットは家賃に含まれており、LANケーブルは元から備え付けられています。

大学でのPCの使用の可否：  使用できた  使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

それぞれのキャンパスに図書館やPCルームがあるので、それを適宜利用できるようになっています。日本語入力にも対応しています。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

一度だけ、耳に痛みを感じ病院を受診しました。ただ、日本人医師がいる病院を受診したので言葉では不自由ありませんでした。また、医療費に関してですが、私が加入していた保険にキャッシュレス診療という機能が付帯されていたので、保険会社が直接病院に支払ってくれたので、私自身が病院で医療費を支払う必要がありませんでした。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

私は健康管理があまり得意でなかったので頻りに風邪を引いていました。ただ、いつもよく使う風邪薬などは日本から持参していたので薬で困ることはあまりありませんでした。また、衛生面関連で、水道水は本当は飲用ではないらしいですが、私は割と飲んでいました。ただ、日本とは水質が違うので人によってはおなかを壊したりする可能性もあります。

### 3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

元々は、日常生活はすべて日本で作成したクレジットカードで済ませるつもりでしたが、オランダでは想像以上にクレジットカードの利用が普及しておらず、また、もし使用できたとしても手数料がかかってしまう等々の不都合が生じるので、現地に到着してから現地の口座を作ることにしました。それ以後は、基本的に現地作成のデビットカードを利用することが多かったです。現地で口座を開くするには基本的に日本からの前準備は必要なかったと思います。（私が利用したRabo Bankの場合）

### 3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

一口で言って、オランダと日本の文化は大きく異なります。基本的に人と会うとなるとバーで会いお酒を囲むことが多いと思います。また、オランダの人はとにかく何でも物事をはっきり言いたがるようです。これに関しては、オランダ人はよく声を大にして言っておりまして。（そうでないと感じる時もありましたが）なので、日本人同士の阿吽の呼吸のようなものは通じない可能性が高いのではっきりと自分の意見が言えるようにする方がコミュニケーションが円滑に進むと思います。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

私は留学中に大学外の現地の人々と何度か交流できる機会に恵まれました。主には、大学の友達の友達といった繋がりですコンタクトを持ちました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

していません。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

安全に関しては、ほとんど問題ないと思います。友達は自転車泥棒に遭っていましたが、その辺も入念に対策しておけば問題ないと思います。ライデンは大学の街なので、別人種に対する現地の人の態度も特に差別的ではなかったように記憶しています。

### 3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していません。

## 4. 経費について

### 4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO \_\_\_\_\_, 8万 \_\_\_\_\_ 円/月

## 5. アドバイス及び感想

### 5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

オランダ大使館ホームページ  
地球の歩き方

### 5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

- ・常備薬。
- ・即席の日本食。例えばみそ汁など。（いつも和食の方は）
- ・折り紙。これは割と現地の人に好評でした。

### 5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（                      ）                      点→帰国後（                      ）                      点

就職の際に、海外に携われるような仕事をしたいという気持ちが更には強くなりました。ヨーロッパ人がどんな人達かということも少なからず分かったかもしれません。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

鉄道のシステムがややこしく、トラブルに巻き込まれました。オランダでは、乗車の際、改札がなくとも電車を利用できるので、自分のICカード（切符代わりのようなもの）でチェックアウトし損ねると、いちいち本社に連絡して、一から説明しないといけなくて、鉄道を利用する際はよく困っていました。現地の人でも鉄道会社に文句をいうこともあるぐらいなので、相当質の悪い鉄道システムだと思います。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

もう少し、住居の確保に関して、相手大学側に働きかけて欲しかったです。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。留学先としては、あまり有名ではないと思いますが、その分、他の人ができないような経験も待っていると思います。又、ライデン大学は国際法の分野では著名ですので、その分野に興味がある人には特におすすめできます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 2
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 3
- ・留学全体の総合的な評価： 4

**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	European Union Law Foundations	Mw. I. Antonaki	2コマ /週	5	30人 程度	主に、毎授業の準備は教科書を読むことであるが、正直、自分自身は追いついていなかった。テストは、教科書、プリント等持ち込み可で、3時間で4題のオープンクエスチョンが出題される。持ち込み可といっても教科書が膨大な量なので、あらかじめ勉強していないと試験を合格するのは難しいと思う。
2	European Migration Law	Dhr M.A.K. Klaassen LL.M Mw Mr.drs. G.G. Lodder	2コマ /週	5	30人 程度	成績は2週間に一回課される2000-3000字のレポートと1回のプレゼンテーションによって決まる。レポートがとてども大変だが、授業でやったことがテーマになるので、いかに授業で得たことをレポートで書けるかがポイントになると思う。また、2週間に1回、ワーキンググループのようなものがあるのでそこでもわからないことを他の受講者と話せる。
3	Introduction to Children's Rights	Dhr Prof.dr.mr. T. Liefwaard Ms A.S. Florescu, LL.M	2コマ /週	5	40人 程度	毎授業、量の多いリーディングが課されるので、早め早めに読むのが良い。また、学期中に1回、2000字程度のレポートが課されるので、これも取り組まなければならない。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

**授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等**

私は、法学部の授業のみだったので主にその話をしたいと思います。授業についてですが、私が取っていた授業はすべて講義形式の授業で英語で行われました。ですので、メインは先生が講義をし、たまに生徒に対してレスポンスを求めるといった形式でした。ただ、そのうちの1つの授業では、プレゼンテーションもしなければならず、前もって準備をして、何とか乗り切ることができました。クラスはどれも30~40人程度と規模としてはそこまで大きくはありませんでした。そもそも、どの授業にも1クラスあたりの定員が設けられているので、これ以上増えることはおそろくないと思います。成績評価の方法ですが、私が取っていた授業では、期末テストがあるものとなないものがありました。そして、期末テストがある授業では、期末テストが7割ほど、そしてレポートが3割ほどを占めていました。一方、期末テストのない授業では、2週間に1回ほど2000~3000字ほどのレポートとプレゼンテーションで成績評価が行われました。どの授業においても、ヨーロッパ圏から来ていた学生もかなり苦戦していたようで、英語ができるできないの問題ではなく授業の内容自体が難しいということを感じました。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 11万円
  - ・住居費： (月額) 8.5万円 × (留学期間) 5 ヶ月 = 42.5万円
  - ・食費： (月額) 2万円 × (留学期間) 2 ヶ月 = 10万円
  - ・保険料： 7万円
  - ・その他：
- 合計： 70万円 (留学期間全体の費用)

その他 自由に記入してください。（800字～）

オランダは、日本と違い、日本では違法なものも合法であったりと面白い国だと思います。また、人に関しても、日本のような阿吽の呼吸は通じないことも多いと思います。そういった意味では、異文化理解をするのにももってこいな国であることは間違いありません。ぜひ、ライデン大学に留学してみてください。